

浅尾環境相インタビュー 「資源循環の仕組み構築、地域経済に投資と支援を」

環境ビジネス編集部

最終更新日：2025年03月24日



印刷



共有



2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするネット・ゼロの実現に向け、2025年は目標年まで四半世紀という節目の年になる。政府は2025年2月、2030年から先の温室

効果ガスの新たな削減目標を含む地球温暖化対策計画を閣議決定し、この削減目標を国連に提出した。

脱炭素や気候変動、循環経済など環境への取り組みを加速するために何をすべきか。浅尾 慶一郎環境相に聞いた。

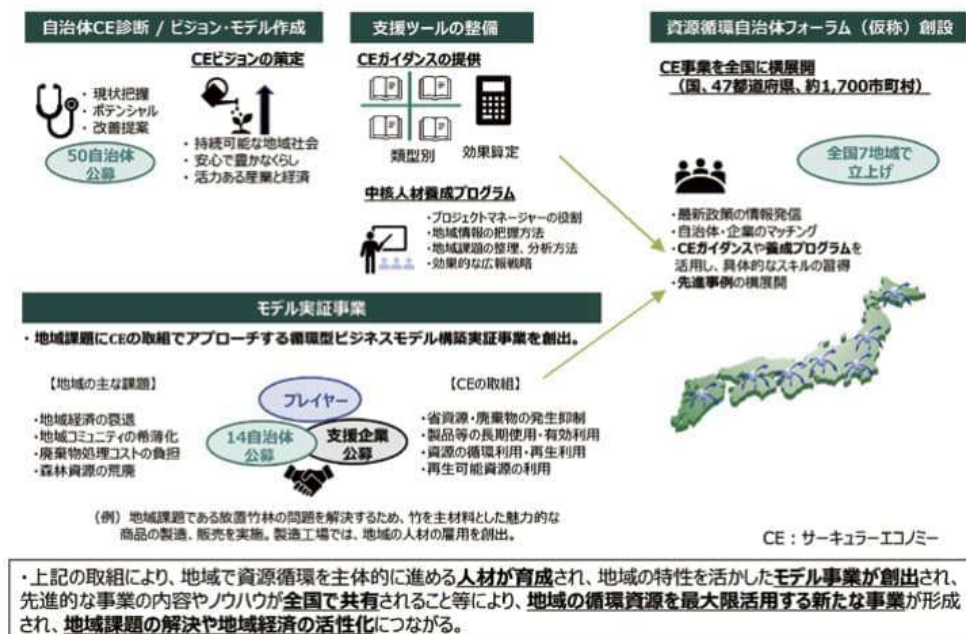
——政府は付加価値創出型の経済創出に力を入れて取り組んでいる。地方の特性を生かした資源循環の仕組みをどう構築するのか

資源循環させることによって地球に与える環境負荷を減らすことは大変重要で、サーキュラーエコノミーは推奨すべきだ。

別ないい方をすると、廃棄物として捨てているとまったく価値を生ま
ないが、燃やした場合は熱回収ができる。それより一歩進めれば、リ
サイクル、リユースができる。

最近新たな発見として面白かったのは、慶應大、ベンチャー企業、伊
藤園などが連携した、生分解性プラスチックを効率的に分解する微生物
の研究だ。プラスチックを分解する際にどの微生物が関わっている
かはこれまで分かっていなかったが、神奈川県鎌倉市の西鎌倉小学校
の土壌からプラスチックを効率的に分解する微生物が偶然見つかった
ことで研究が進展している。

プラスチックは燃やせば熱回収できるが、新たな取り組みが確立する
と、資源循環も視野に入れられる。



循環経済への移行加速化パッケージ（令和6年12月27日循環経済に 関する関係閣僚会議決定）からの抜粋

環境省は循環経済拡大のため、地域の支援事業を強化している（出
所：内閣官房）

——地域の興味深い循環経済の事例はあるか

面白い取り組みとして北海道の上士幌町がある。畜産が盛んな場所
で、糞尿をバイオガス発電原料にする地域脱炭素、残渣を飼料に使っ
て生産につなげている。

鹿児島県大崎町では町内で埋立処分場のひっ迫があり、ごみ分別によって町内の約8割のごみを再資源化した。これにより、約40人の新たな雇用も創出している。

政府は2024年末、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行加速化パッケージをつくった。今後意欲的な取り組みを支援し、横展開することを考えている。これから日本の地域では人口が減ってくる。

上土幌町や大崎町のように地域で雇用を生み出し、雇用により地域で暮らせる循環型社会をつくるのが日本全体のためになる。循環経済の旗振りは大変だが、意欲のある人にやろうと思ってもらえる形のものを取り上げたい。

次ページへ→—— 国内地域とともに、循環経済の観点で重要な点は何か



この記事にリアクションして1ポイント!（※300ポイントで有料記事が1本読めます）

0人
実務に役に
立った

1人
参考に
なった

0人
もっと詳しく
知りたい

注目の求人情報

1 **大手スポーツ用品メーカー サステナ推進&非財務情報開示担当**

年収情報：非開示

2 **メガバンク：サステナビリティに関連する新規事業開発・投資業務**

年収情報：非開示

3 **コンサルBIG4：電力・エネルギー領域コンサルタント**

年収620～1800万円

関連記事

コムハム、生分解性プラスチック カネから、広島県でバイオプラスチックを短期間で分解する微生物を発見 特許取得
九州全域で廃プラスチックを資源循環モデルの実証開始 エコポート九州、丸紅らの「知の拠点」と連携
25年3月まで

カインズ、官民連携のプラスチックの環境負荷をいかに減らすか 化学で革新に 荏原環境プラント、分別・回収・リサイクル実証開始 掛川モデル構築へ 挑戦
イクル実証へ

NTT系ら、工場排出の汚泥を 中部国際空港内でプラごみを 「日経平均が大暴落する日に
肥料化 トライアル開始 資源循環 ANAなど民間と連 ボロ儲け」 政府関係者しか知
携 愛知県 らない”ひみつ”とは
広告

Recommended by

直近1週間のアクセスランキング

PR | 【脱炭素】GHG排出量を軽油比「100%削減」できる燃料！詳細
はこちら

1	スバル「アイサイト」が大きな転換期に直面	75865人
2	気候変動、企業経営に甚大リスク	723人
3	横浜市庁舎とみなとみらいビル群、容量市場に参画 地域一体でDR実施	645人
4	三井住友FL系ら、今後5年で70MW太陽光発電所開発 PPAで再エネ提供	523人
5	東芝ESSら、余剰電力を岩石に蓄熱 国内最大数十 MWh規模の実証開始	510人

[記事一覧へ](#)

イベント情報



【期間限定】脱炭素経営
と次世代バイオ燃料「リ
ニューアブルディーゼ
ル」の活用

2025.03.03 (月) ~
2025.03.31 (月)



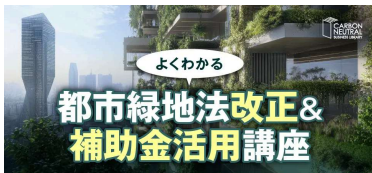
【期間限定】環境ビジネ
ス グローバルカンファ
レンス アーカイブセレ
クション

2025.03.25 (火)



VPP(仮想発電所)ビジネ
ス基礎講座 (LIVE配信)

2025.03.26 (水) ~
2025.03.26 (水)



よくわかる都市緑地法改
正 & 補助金活用講座

2025.03.28 (金)



太陽光パネルリサイクル
& リユース基礎講座～市
場の分析と国内の最新動
向～

2025.03.28 (金)



環境ビジネスフォーラム
2025年度 カーボンニュ
ートラルの実践へ ～CO2
削減、エネルギー転換へ
の道筋～

2025.03.28 (金)
13:00～16:00